

シネマズライフ

2014年8月15日発行 第66号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん
貴樹 諒音

【最近の「これはお見事！」】

『くらげとあの娘』

『くらげとあの娘』って無関係ぶり面白い。

【最近の「これはまずいぞ！」】

『荒野の千鳥足』

一九七一年の作品で紹介コメントには「シヨッキング」「パワフル」などの言葉が並び、挙句に「マーティン・スコセッパが観る度に皮膚の裏側に衝撃が走る。」なんて言っているとするとすいんだらうけど、この題名はなんだ？

映画の風景 日本の風景

※ 沖縄・浜比嘉島 ムルク浜ビーチ ※



それは、都令で覆れた日々を送る人々にも同じ事。沖縄の浜比嘉島にあるムルク浜ビーチは、かなりの穴場だそうだが、青い空と美しい海を訪ねてみたいと思ふのはやはり私も疲れていくという事だろっか？

昔・『ショーシャンクの空に』という映画があった。こんな映画だ。47年、銀行副頭取を務めるアンディ・デュフレーションは、妻と浮気相手を殺した罪でショーシャンク刑務所に入れられる。寛えのない罪にアンディは無罪を主張するが、それは認められなかった。失望するアンディだが唯一の慰めは、『調達係』のレッドとの交流だった。2年後、ハドレー刑務所主任が法律問題で悩んでいる事を知り、外での作業中の囚人にビールを売る事を条件に書類の作成を引き受ける。それがきっかけに、囚人達の法的な書類作成を引き受け、やがて所長の頼み事も請け負うように。アンディはショーシャンク刑務所になくしてはならない男になっていく。ある日、トミーという男が入所してきて、アンディの事件について意外な話をする。……

『ショーシャンクの空に』1994年 アメリカ 監督 脚本：フランク・ダラボン 原作：スティーヴン・キング 出演：ティム・ロビンズ モーガン・フリーマン
名作と思えば必ず名前が上がる映画の一本。アメリカ映画には珍しい「耐える事」「学ぶ事」がテーマになっているのがヒットした原因だろう。



どちらも、名を成した女性だが、一方は岸和田という関西でも最も閑西らしい土地で生きた女性、一方は上流階級の友人を得て、多くの子供に夢を与えようとする女性。相反する生き方に私は非常に興味を持った。

コラム ドラマで人生が見えるのか？

前編

今、NHK・BSで平成23年度下半期の連続テレビ小説『カーネーション』が放送されている。一方今期の連続テレビ小説は、翻訳家の村岡花子の半生を描いた『花子とアン』だ。

どちらも、実際の人物をモデルに描かれており、『カーネーション』は、戦前戦中戦後の女性の奮戦記がメイン。『花子とアン』は戦前の世紀のスキヤンダルと悲劇を経験しそれをバネに生きる女性がメインだ。



『カーネーション』は、世界的デザイナー・コシノ三姉妹の母・小篠綾子の物語がモデルで、岸和田でまだ珍しかった洋装店を開店し、世界のトップデザイナーとなった娘三人を育てた肝っ玉母さんの物語だ。

気性の激しい糸子（小篠綾子）を尾野真千子が演じ正に当たり役。実は迂闊ながらこのドラマが始まった時は、小篠綾子をこんな清楚な人が演じるなんて「絶対、無理やわあ」と思ったので見なかったのだが、後でチラッと『カーネーション』を見たところ尾野真千子の肝っ玉母さんぶりにびっくり！「こりゃあ、すごい女優が出てきたわ」軽い驚きだったが、『火の魚』を見てこんな静かな女性も演じられるのだと思ひ感心した。

以下次号。

運営会社：株式会社paperboy&co.